

PJPシート 自分編

おざわようすけ(おじゃ)

小澤陽祐(OJA)

似顔絵・写真



キャッチコピー・座右の銘

「やるなら、今しかねえ」
by 田中邦衛

フランクな自己紹介(200文字以内)

こんにちは、小澤陽祐です。趣味は音楽鑑賞で、黒人音楽、特にHipHopが好きです。自宅は郡上八幡のとなり町、郡上大和にあります。会社は生まれ育った千葉県松戸市にあるため、行ったり来たり2拠点生活にチャレンジ中です。移住してまだ2年半、ようやく郡上で暮らしてみえてきたところです。これから移住してくる皆さんと一緒に、さらに郡上に根ざしていけたらいいと思います。

プロフィール文(250-300文字)

1976年千葉県松戸市生まれ。有限会社スロー代表取締役。NGOナマケモノ倶楽部共同代表。1999年よりスロームーブメントに関わる。2000年7月スロービジネス第1号として、20代男子3名でスロー社を設立。20代の起業ならではの紆余曲折を経ながらも、【オーガニック】【フェアトレード】のコーヒー豆のみを【自社焙煎】することに特化し、スローながらも着々と卸先・顧客をふやしている。2009年10月には、スローコーヒー八柱店をオープン。2016年から焙煎機の電力を100%太陽光発電の電気に切替える【ソーラー焙煎】にチャレンジ。2016年夏、郡上市に自宅を建て移住。現在松戸と郡上で2拠点生活中。2018年から【郡上発！水出しプロジェクト】を展開している。

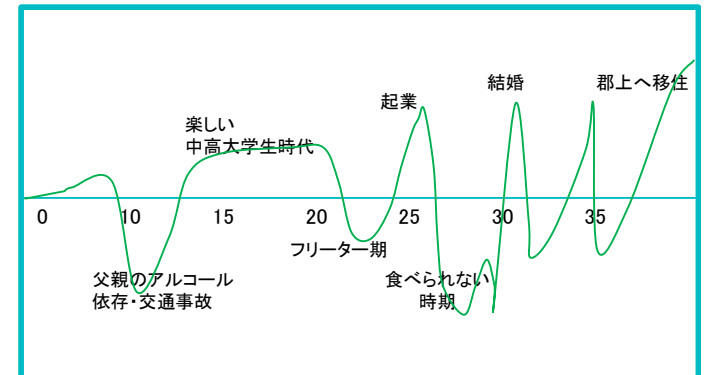
自分ヒストリー

昔

- ・小学校:家のまわりや学校の校庭などでいつも虫探しをしているような子供でした。身近な昆虫、魚、両生類、爬虫類に至るまでひとつひとつ飼育しました。この身近な自然で遊んだ体験が、今の仕事につながっていると分析しています。
- ・中学校:学校の勉強は好きでしたが、人を笑わせるのが好きで授業中にふざけた発言をして先生に怒られたりしていました。
- ・高校:学校の勉強は変わらず好きでしたが自我の目覚めがあり、友達と遊びまわった3年間でした。高校受験に失敗し受験勉強がイヤになっていたため、大学には推薦で進学しました。
- ・大学(1994~1998):「勉強自体はそんなに好きではない」ということをはっきり自覚し、高校からの仲間たちと、SMP(スノーボード、麻雀、パチンコ)という未公認サークルをつくり、勉強はしませんでした。大学で得たものは人のご縁だけです。初海外旅行でニュージーランドに行き、「外から日本をみる視点」ができました。大学3年になっても「やりたい仕事」が見つけれず、就職活動はしませんでした。
- ・フリーター時代(1998~2000):2年間のフリーター生活の間に、憧れのニューヨークへ1ヶ月間遊びに行き、黒人音楽に触れてきました。大学時代のご縁からNGOナマケモノ倶楽部の設立に関わり、有限会社スローを立ち上げることに。
- ・起業~現在(2000~):当時ではめずらしいソーシャルビジネスを行う会社として応援して頂くも、「商売」「経営」というものを全くわからず始めたため紆余曲折を経ながらもなんとか継続・発展。2011年の311の経験から郡上への移住を決意。徐々に準備を始め2016年夏に自宅を郡上市に建て郡上市民に。2017年春、HUBGUJOに入居させてもらったご縁から「郡上発！水出しプロジェクト」を開始することに。

今

人生グラフ:横軸は年齢・縦軸はイキイキ度(幸せ度)。
人生で輝いていた時、沈んでいた時を見える化しましょう!



みんなが知らない自慢・芸・得意技

HipHop好きが高じて2005年よりrapをするようになりました。干支にちなんだrapを1年に1曲ずつ作っています。(2013年以降完成に至らず)

おざわようすけ(おじゃ)

PJPシート プロジェクト編①

小澤陽祐(OJA)

個人的背景(150-200文字)

きっかけは2011年の311です。私が当時住んでいた松戸市に放射能が雨で落ちて、水源である江戸川が汚染されました。水道水から放射能が検出されたため「水の奪い合い」が起きました。その時に郡上の親族が自然の水をポリタンクに汲み送ってくれて、私は救われた思いがしました。都市部では「おいしい水は買うもの」ですが、郡上では「共有のもの」です。この時の経験をいつか表現したいと思っていました。

課題・ビジネスチャンス(150-200文字)※事前にご提出いただいたエントリーフォームの②に対応しています。

郡上は「みずと踊りのまち」と言われるが、「水」に関してはまだまだあまり知れわたっていない。また、郡上の人たちも自然の水を段々使わなくなっている。そこで、郡上の水文化を引き継ぎつつ、観光の目的のひとつになりうる本プロジェクトを実行することにしました。2017年の6月からテスト実施を複数回おこない手応えを感じ、2018年から本格始動。

プロジェクト概要(300-400文字)※エントリーフォームの⑤に対応しています。

郡上発！水出しコーヒープロジェクト

「水」を軸に、郡上八幡のまちをめぐる「水出しまち歩き」を展開。

郡上を訪れた人が「水出しコーヒー体験セット」を購入、水汲みMAPを見ながらまち歩きをして、水汲みポイントを訪れ、自分の舌で水の味を確かめ、気に入った水で水出しコーヒーを仕込む。その日の帰り道や宿泊施設で、もしくは自宅に着いてからできあがった水出しコーヒーを楽しむ。郡上の「水」を実際に体験したことで記憶に残り、水について考えるきっかけとなる。

2年目からは周遊型観光促進アプリgrullyと連携し、水出しまち歩きを目指して郡上に来る人を増やす。また、郡上市大和町内に、「水出しコーヒースタンド」をオープンし、水出しコーヒーを展開することを検討中。同時に地域コミュニティの拠点、“水先案内所(＝観光案内所)”としての機能を持たせ、郡上大和内の地域資源・人・活動を紹介し周遊観光モデルをつくる。



あなたは、郡上のどんな①人・コミュニティ②自然③文化に根ざしていて、このPJはそれぞれにどんな価値を還元できると思いますか？(各最大60文字程度) ※事前にご提出いただいたエントリーフォームの③を少し変形した形です。

	①人・コミュニティ	②自然	③文化
あなたが根ざしているもの	郡上の自然の水を活用し暮らしてきた人々、その地域のコミュニティ	郡上のきれいな水、川、山、自然、生き物、人々の心	自然に敬意を持ち、大切に使い、守り、暮らしてきた文化
プロジェクトがそれぞれに対して還元できる価値	郡上の水文化を受け継ぎ、つないで、あとの世代にも残していくこと	受け継ぎ、つないで、あとの世代にも残していくこと	受け継ぎ、新しい形で使うことでつないで、あとの世代にも残していくこと

3年間のロードマップと3年後にどうなしてほしいか

1年目 ↓	種まき期	やること (50-100文字)	<ul style="list-style-type: none"> 「地域産業資源活用事業としての認定」をめざす 応募される方との事業計画の作成 地域との合意形成 	<ul style="list-style-type: none"> 水出しキット取扱営業 郡上八幡での広報宣伝 関連事業者との連携を模索 	<ul style="list-style-type: none"> まち歩きツアーの実施 水質調査 水質研究
2年目 ↓	発芽期	やること (50-100文字)	<ul style="list-style-type: none"> 体験セットに加え、お土産セットを展開→郡上八幡周辺への波及 周遊型観光促進アプリgrullyとの連携により、郡上八幡まち歩きコースの設定 	<ul style="list-style-type: none"> 周遊型観光促進アプリgrullyとの連携により、郡上大和のコースの設定 郡上大和に水出しコーヒースタンドをオープン 	<ul style="list-style-type: none"> 水質調査 水質研究
3年目 ↓	成育期	やること (50-100文字)	<ul style="list-style-type: none"> お土産セットをさらに広域に展開→郡上近隣への波及 周遊型観光促進アプリgrullyとの連携により、郡上八幡まち歩きコースの充実 	<ul style="list-style-type: none"> 周遊型観光促進アプリgrullyとの連携により、郡上大和のコースの充実 水出しコーヒースタンドを地域コミュニティの拠点に 	<ul style="list-style-type: none"> 水質調査 水質研究
3年後の理想状態(150-200文字)					
<p>郡上八幡で「水出しコーヒーキット」を持って歩いている観光客をよく見かけられるようになり、郡上の人も「水出しプロジェクト」を知っていて、「郡上はみずのまち」という意識が再認識され始めている状態。全国の水の美味しい地域からも注目され、視察や相談が来ている。</p> <p>郡上大和の水出しコーヒースタンドは地域コミュニティの拠点として機能し始めていて、大和の水先案内所として、母袋のどぶろくなど大和観光も案内。事業としても発展していて、今回参加してくれた方を地域おこし協力隊のベシックインカムがなくても雇用できるぐらいの事業規模になっている状態。</p>					

どんな人来てほしいか？スキル/マインド/実績など(150文字以内)

募集メッセージ(プロジェクトのわくわく感)(150文字以内)

PJPの関わり方(該当する項目に○をつけてください)

<ul style="list-style-type: none"> ・SNS発信が好きで得意な人 ・飲食経験があって接客好きな人 ・自分で自分の未来を切り拓いていく意志のある人 ・小澤が郡上に不在の時、プロジェクトの顔として動ける人 ・officeソフトが使える、イラレ他でPOPなど作れる人 ・要普通免許 	<p>水出しコーヒーがたがなぐ未来へのコミュニティ、一緒につくっていきましょう！</p> <p>水が好き、川が好き、山が好き、自然が好き、コーヒーが好きな方の応募をお待ちしてます！</p>	<p>A. 私自身がフルコミットして一緒に取り組みます。</p> <p>B. 私が今取り組んでる事業を基盤に、新しい事業と一緒につくります。</p> <p>C. 私にとっても未知の分野、新しいチャレンジです。</p>
--	--	--

暮らしのイメージとサポート

<p>プロジェクトの対象地域</p> <p>郡上八幡、郡上大和をモデルケースに、その後は全国の水の美味しい地域へ</p> <p>その地域での暮らしはどんなものですか？(※移住者の居住地がこの地域になるとは限りません/100文字)</p> <p>自然への畏敬の念をもち、自然と共にある暮らし。自然の水を引き、活用する。四季を感じ、他の動植物とも共生する。自分たちの暮らしは自分たちでつくる。地域のことは地域で解決する。</p>	<p>あなたはプロジェクトに応募する人の暮らしにどんなサポートできますか？(-100文字)</p> <p>郡上大和での暮らし、地域への溶けこみ方はサポートできます。私自身が移住者なので、どのように溶けこんでいるかを共有します。「自然や土に触れる暮らし」「地域活動への参加」について応募者に近い目線で、共に追求したいです。</p>
--	--